

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1 年 12 月 26 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200825		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい東野		
所在地	〒731-0111 広島市安佐南区東野三丁目30番21号 (電話) 082-876-3122		
自己評価作成日	令和1年12月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200825-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年12月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>○ご利用者・ご家族との信頼関係構築の為に、事業所全体の行事では定期的に御家族にも参加をお誘いしている。また隣家や過去に親交のあった近隣住民の方との交流も行っている。</p> <p>○認知症サポーター養成講座の施設実習の受け入れを行い、地域包括支援センターとも連携を取りながら地域の方々に認知症について知って頂ける様に活動を行っている。</p> <p>○その人らしい生活を送ることができるように、ご本人やご家族の話を聞きながら利用者の生活歴の充実・それに応じた個別ケアに取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>法人理念に基づいた事業所の年間計画を作成している。その際に「重点事業方針と取り組み」を明記し、職員は年間計画の「取り組み」に関連した個人目標を作成し、半年ごとに実施状況を評価している。年1回、家族会を開催して事故・ヒヤリハット・苦情などの運営状況を報告している。また、バーベキュー・さつま芋収穫・外出行事に家族の参加を呼びかけ交流を深める取り組みを行っている。利用者毎に担当者を決め、生活歴や趣味を詳しく把握して個人ケアのケアプランを作成している。手芸が好きな利用者への作品づくりなどの事例がある。職員の意見を聞き、業務改善を行って働きやすい環境づくりを行っている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人の経営理念を各ユニットに明示し朝礼時に唱和を行い、理念の共有、実践につながる様、努めている。当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し計画に基づいたサービスが提供でき理念の達成にむかう様、努めている。	法人経営理念の下に行動指針があり、スタッフルームに掲示し、朝礼時に唱和して職員と共有している。理念に沿った「事業所年間事業計画」を作成し、重点事業方針と詳細な「取り組み」が明記されている。職員は「取り組み」に対する個人目標を立て、半年毎に達成度を評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣のスーパーに御利用者や職員と一緒にやっている。BBQなど全体行事では地域の方をお呼びしたり、畑での野菜作りは隣家のお力添えを頂いている。	町内会に加入していないが、民生委員から情報を得て、地域の夏祭りや神社の祭りに利用者が出かけている。事業所で行うバーベキューやさつま芋収穫に近隣住民や家族が参加し交流している。事業所の畑作業に地域の住民が協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーターステップアップ講座の施設見学では、グループホームでの生活、認知症ケアについて理解して頂ける様に努めた。また、電話や訪問にて介護等に関する相談を受けた際は誠意を持って対応をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議などで頂いた地域の活動状況を御利用者の日常のケアやサービス向上につながる様、努めている。	運営推進会議は定期的開催され、今年からユニットの家族代表が参加するようになった。会議では、事故・ヒヤリハットや苦情、身体拘束に関する状況が報告され質疑応答と意見交換している。「薬の誤薬」に関して、出席者から他施設の事例を聞き、事業所での改善に反映させたこともある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への定期参加を促し御参加頂いている。各種報告書類、届出書は郵送でなく訪問して提出しコミュニケーションを図れる様、努めている。	運営推進会議に地域包括支援センターが参加した際に、意見交換を行っている。「認知症サポーター養成講座」の施設実習を受け入れ協力している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内研修等で身体拘束について学ぶ機会を設け情報の共有を行っている。現時点で身体拘束はないが今後も行われない様、努めている。運営推進会議では委員会を開き、参加者の方にも意見を頂いている。	玄関は夜間を除き施錠されてなく利用者は自由に出ることが可能である。センサーマットを使用する際には、「行動を制限するものでない」と説明し家族の同意を得ている。事業所内のヒヤリハットと身体拘束の情報は2か月毎に集約し「身体拘束禁止委員会」として運営推進会議で報告し意見交換している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修で情報の共有を行い、御利用者のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等、現在、利用されている御利用者はいないが、今後、必要性が出た時に対応出来る様、制度の理解と御家族等関係者と連携を図っていききたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を提示し具体的に説明するよう努めている。御利用者、御家族からの不安や疑問点は解消出来る様、適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族、面会時には、御入居者の状態報告に併せて、御家族の意向をお聞きする様に努めている。	年1回、家族会議を開催して行事・苦情・事故などに関する事業所の運営状況を報告している。また、家族がバーベキュー・さつまいも収穫・紅葉狩りなどの行事参加した際や来所時に家族の要望を聞いている。家族の意見により、居室の温度・湿度管理を徹底するようにした。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのミーティング開催時に管理者が出席し職員の意見を聞き、都度、運営に反映できる様に努めている。ミーティング事前に書面でリーダー中心に意見を聴取し開催を行っている。尚、出席出来なかった職員も把握出来る様、議事録を作成し回覧ができるように努めている。	ユニット会議や半年毎の職員面談時に職員の意見を聞いている。職員からの「楽しいことをしたい」との提案で、様々なレクリエーションを実施している。「定時に退勤したい」との要望で、業務改善により残業を少なくし、「必要な残業」は、管理者が許可する業務のみを行うことにした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員がチャレンジシートという年度目標を立て達成に向け取り組んでいる。それに加え、考課表、職務チェックリストでの評価制度があり昇給に反映につなげている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で教育研修部があり、年間の内部研修の計画があり参加しやすい環境にある。外部研修について職員個別の研修費が予算化しており、職員が自ら意図した研修に参加できる体制がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内・外の研修にて他部署や他事業所（同業者）との意見交換ができサービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の訪問面談時は管理者、訪問看護師（可能であれば計画作成担当やリーダーも同席）で伺い疑問点や不安な事等、話が出来、適切なアセスメントが行える様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前や契約時等で御家族の要望や不安等を聞き、入居前に頂いた情報を職員間で共有し安心してサービスが受けられる事が出来る様、努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居相談時、事前面談、契約時等で伺った内容、アセスメントシートを活用しその時に必要なサービスの提供や紹介を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。御本人の生活習慣を把握し、日々の生活の中で取り込まれる様に支援をしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や電話連絡の際、体調の変化や日々の様子をお伝えする様、御家族より質問や相談に対応ができる様努めている。御本人、御家族との時間を大切にし外出や居室で一緒に食事ができる様、支援をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>御家族以外にも、自宅で過ごしていた時の近所の方等の馴染みの方が来所され受け入れを行っている。面会の際は会話の支援を行い継続して御面会頂けるような雰囲気づくりに努めている。個別ケアとして馴染みの場所へ外出出来る様支援している。</p>	<p>利用者が以前に住んでいた場所、よく買い物に行った店に個別ケアとして職員が同行し馴染みの関係の継続を支援している。また、利用者が以前に住んでいた地域の民生委員が仲介することで、利用者と知人が再会する事例があった。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビング内での空間や席の配置を行っている。御利用者同士が関わりが持てる様、職員が声かけ時には会話の橋渡しを行い、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際には気軽に立ち寄って頂ける様、話をしている。また可能な限り行事等へのお誘いを行っている。次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供を可能な限り協力を行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の思いを把握し日常生活に取り入れる様にしている。意思疎通や認知症状の部分で把握が難しい場合は普段の生活状況や生活歴や御家族からの情報をもとにミーティングで話し合いを行い支援に努めている。	利用者毎に担当者を決め、利用者の今までの生活歴・趣味などを家族に聞いたり、日常会話から情報を収集している。情報をケアプランに反映させて、利用者の個別ケアとしている。鉄道マニアの利用者には専門書の購入や実際にアストラムラインに乗車するプランを実施した。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人、御家族、関係事業所から御本人の生活歴や生活環境等、情報収集しホームでの生活に活かせる様、努めている。また、入居してから御本人とのコミュニケーションを図りながら新たに分かった情報を共有し支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、御入居者の様子観察に努めている。職員が把握した情報は生活状況記録、申し送り等で職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人、御家族の意向、要望をお聞きしている。担当職員の意見も合わせて御本人の生活課題と適切な支援のありかたを具体的に記載している。	利用者毎に担当者を決め、担当者は毎月、モニタリングを行っている。6か月毎のプラン見直し時には、担当者はアセスメントを実施し、家族から要望を聞いてケアプランの原案を作成後、計画作成者がまとめている。その後、ケアカンファレンスで他の職員・看護師などの意見を参照してプランの見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常生活状況、個別記録にケア内容等を記載し職員が引継ぎ、記録にて御入居者個別の情報の共有し介護計画の見直しに活かしている。	/	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	外出、外泊時には御家族（同伴者）への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等の配慮に努めている。受診や入院等の緊急的な事が発生した時も御本人、御家族と連携を図り柔軟な支援に努めている。	/	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のレストラン等の飲食店や近所のスーパーへの外出や散歩で近隣の方への挨拶を行っている。	/	
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	2週間に1回、法人内のクリニック医師の訪問診療を受けられている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告をしており、指示がある場合は速やかに受診介助等の対応に努めている。また、御本人、御家族からの不安に対して直接、主治医より説明を頂いている。	本人・家族の要望でかかりつけ医を決めている。入居時に、事業所の協力医について説明し、家族の同意を得て「かかりつけ医としての契約」を行っている。また今まで受診していた医師へ通院する利用者もいる。利用者の体調不良時には訪問看護師に連絡し、医師からの指示を受けている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	御入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向の確認を行っている。先述の状況になった際は御本人、御家族、主治医、関係機関で話し合いを行い、書面にて確認を行い同意を頂いている。	入居時に「重度化した際の対応」について説明している。重度化した際には、医師が状況を説明し、医師・家族・関係者が協議している。事業所としては、家族の要望があれば看取りを行う方針である。その際、事業所が対応できない医療処置についても説明し、方針を決定し支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応、報告手段の書式に基づき医療職や管理者に報告、連絡、相談する連宅体制を整えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	特に夜間帯に起きた際を想定し地震火災の避難消防訓練を3月、9月に実施している。水災害に置いても新たに避難計画を作成し、今後訓練を行っていく予定である。	年2回、夜間想定した訓練・地震対応訓練を行うが、その際、警備会社が立ち会い消防設備の点検も行っている。市からの要請で「避難集合場所までの避難経路と移手段」について計画案を作成した。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者への尊厳に配慮した接遇には十分留意して接している。傾聴から始め受容する様心がけ対応している。	法人研修と事業所研修で、認知症高齢者への対応と接遇の研修を行っている。「挨拶と言葉遣いについて」事業所内に掲示し、唱和することで共有している。「利用者の個人情報」が漏れないように、申し送りはスタッフルームの中で行っている。「人生の先輩として接する」ことを職員に指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	笑顔での対応を心がけている。御利用者の話を傾聴し、受容と共感の姿勢を持ち自己決定が出来る様、努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り、御利用者の生活リズムに合わせて、安全を確認した上でその人らしい生活が送れる様、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回、訪問理美容サービス業者に来所頂き、御本人の希望に応じてカット、毛染め、パーマ等の対応を頂いている。季節に応じた身だしなみが出来る様御家族にも衣替えの協力を頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	米とぎや下ごしらえ、配膳、下膳、テーブル拭き等、御利用者と一緒にしながら家庭的な雰囲気が少しでも感じて頂ける様、努めている。	献立は予め決まっているが、行事食で利用者の要望を反映してソーメン・天ぷら・サンドイッチ・エビフライを提供している。「おやつレク」として、お好み焼き・ホットケーキなどを利用者と一緒に作り楽しんでいる。少人数単位で外食に出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	座位姿勢を確認しながら、御利用者の状況に応じてクッション等の環境の工夫を行い、御自身で食事・水分摂取が出来る様支援している。食事・水分摂取が難しい方には御本人の好みやゼリー等、好きな物、食べやすい物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施している。義歯使用の御入居者には定期的にポリデントを使用し義歯洗浄に努めている。訪問歯科診療による口腔内の洗浄等指導も頂いている。出来る限り自分で磨いて頂き磨き残しについては支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンを把握しトイレで排泄出来る様、努めている。ファンレストテーブルを使用することによってトイレでの排泄を促進できている。なるべく布パンツ+パットを使用しストレスの無いように努めている。	排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。トイレには「前傾姿勢保持テーブル」が設置されている。利用者がそれを利用することで、下着の上げ下げが容易になり・排泄時の姿勢が保持できることで、排泄の自立支援に役立っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員全体で便秘の原因や及ぼす影響に関する認識は持っている。食事・水分を摂取に加え、遊びリテーション、体操、歌、散歩等の活動を行い、便秘予防につながる様、努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り希望に沿った入浴に努めている。声かけの工夫やタイミング、同性介助等の配慮を行っている。入浴出来なかった方に対し足浴等でリラックス出来る時間の提供を行っている。	週2回入浴しており、ゆっくり時間をかけて入浴することで利用者とのコミュニケーションを多く取ることが出来る。希望があれば同性介助を行っている。決められた入浴以外に足浴を楽しんでもらうこともある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	御入居者の生活習慣や体力に 応じて、いつでも居室やリビング のソファで休む事が出来る様、 配慮している。夜間しっかり休 んで頂ける様、居室の環境整備 や日中の活動の提供を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	内服薬に変更があった場合に職 員が把握できる様に記録に残し ている。効能についても理解で きるように薬情をファイルに閉 じている。変化があれば、その 都度、主治医や看護師に報告し 対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	食材切り、盛り付け、掃除等、 役割を持って生活している実感 を持って頂ける様、努めている。 アクティビティ、散歩、買物等、 外の空気を吸うことで季節を感 じて頂き気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	ホーム周辺の散歩、買物、季節 感を得られるような外出行事等 の支援を行っている。個別支援 では誕生日のお祝い御本人の いきたい所への外出等の支援を 行っている。御家族の支援も頂 き、買物、墓参り等に行かれる 方もいる。	利用者の気分転換として、散歩 や近くの店での買い物を 行っている。花見・紅葉狩り などの外出行事には、家族にも 案内を出して参加して頂いて いる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金の持ち込みはできないが、 一部、少額であるが御本人が 管理をされ買物時に一緒に行 っている。本人の意向があつた 際は、御家族に確認をとり立 替金で購入している。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族等の事情に配慮しながら、御本人からの電話の支援をしたり、先方から電話がある際には御本人に取り次いでいる。御入居者に届いた手紙やはがき等は本人にお便りをしたり、朗読させて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有の生活空間は、清潔を保ち御入居者が混乱されない様いつもと変わらない空間に配慮している。また、季節感が出るように飾り付け等にも工夫をしている。TVだけでなく食事の際には音楽を流している。	施設内の清掃は、職員が業務を分担して毎日掃除し、清潔に保つようしている。美化委員が「季節の飾りつけ」を行い、大掃除を率先している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファを設置し御入居者のくつろげる空間に努めている。安全に配慮した上で、机のレイアウト、気の合う御利用者との談話が出来様に席の配置を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御入居者のなじみのある使い慣れた家具や飾り、写真等を御持参頂き可能な限り自宅に近い環境づくりに努めている。	「利用者が住んでいた家」に近い環境づくりに努め、フローリングに畳を敷いて和風に改修し布団を使用している事例がある。趣味の鉄道模型や関連した書物を持参したり、縫物や編み物の道具を持ち込んで、居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	御利用者一人一人の今ある力が十分に発揮でき自由に行動が出来る様、動線上の障害物に配慮し可能な限り、広々とした空間が維持できる様に努めている。		

V アウトカム項目（ Aユニット ）← 左記（ ）内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人の経営理念を各ユニットに明示し朝礼時に唱和を行い、理念の共有、実践につながる様、努めている。当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し計画に基づいたサービスが提供でき理念の達成にむかう様、努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣のスーパーに御利用者や職員と一緒にいる。BBQなど全体行事では地域の方を及びしたり、畑での野菜作りは隣家のお力添えを頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーターステップアップ講座の施設見学では、グループホームでの生活、認知症ケアについて理解して頂ける様に努めた。また、電話や訪問にて介護等に関する相談を受けた際は誠意を持って対応をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議などで頂いた地域の活動状況を御利用者の日常のケアやサービス向上につながる様、努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への定期参加を促し御参加頂いている。各種報告書類、届出書は郵送でなく訪問して提出しコミュニケーションを図れる様、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内研修等で身体拘束について学ぶ機会を設け情報の共有を行っている。現時点で身体拘束はないが今後も行われない様、努めている。運営推進会議では委員会を開き、参加者の方にも意見を頂いている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修で情報の共有を行い、御利用者のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等、現在、利用されている御利用者はいないが、今後、必要性が出た時に対応出来る様、制度の理解と御家族等関係者と連携を図っていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を提示し具体的に説明するよう努めている。御利用者、御家族からの不安や疑問点は解消出来る様、適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族、面会時には、御入居者の状態報告に併せて、御家族の意向をお聞きする様に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのミーティング開催時に管理者が出席し職員の意見を聞き、都度、運営に反映できる様に努めている。ミーティング事前に書面でリーダー中心に意見を聴取し開催を行っている。尚、出席出来なかった職員も把握出来る様、議事録を作成し回覧ができるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員がチャレンジシートという年度目標を立て達成に向け取り組んでいる。それに加え、考課表、職務チェックリストでの評価制度があり昇給に反映につなげている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で教育研修部があり、年間の内部研修の計画があり参加しやすい環境にある。外部研修について職員個別の研修費が予算化しており、職員が自ら意図した研修に参加できる体制がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内・外の研修にて他部署や他事業所（同業者）との意見交換ができサービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の訪問面談時は管理者、訪問看護師（可能であれば計画作成担当やリーダーも同席）で伺い疑問点や不安な事等、話が出来、適切なアセスメントが行える様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前や契約時等で御家族の要望や不安等を聞き、入居前に頂いた情報を職員間で共有し安心してサービスが受けられる事が出来る様、努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居相談時、事前面談、契約時等で伺った内容、アセスメントシートを活用しその時に必要なサービスの提供や紹介を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。御本人の生活習慣を把握し、日々の生活の中で取り組まれる様に支援をしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や電話連絡の際、体調の変化や日々の様子をお伝えする様、御家族より質問や相談に対応ができる様努めている。御本人、御家族との時間を大切にし外出や居室で一緒に食事ができる様、支援をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>御家族以外にも、自宅で過ごしていた時の近所の方等の馴染みの方が来所され受け入れを行っている。面会の際は会話の支援を行い継続して御面会頂けるような雰囲気づくりに努めている。個別ケアとして馴染みの場所へ外出出来る様支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビング内での空間や席の配置を行っている。御利用者同士が関わりが持てる様、職員が声かけ時には会話の橋渡しを行い、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際には気軽に立ち寄って頂ける様、話をしている。また可能な限り行事等へのお誘いをしている。次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供を可能な限り協力を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の思いを把握し日常生活に取り入れる様にしている。意思疎通や認知症状の部分で把握が難しい場合は普段の生活状況や生活歴や御家族からの情報をもとにミーティングで話し合いを行い支援に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人、御家族、関係事業所から御本人の生活歴や生活環境等、情報収集しホームでの生活に活かせる様、努めている。また、入居してから御本人とのコミュニケーションを図りながら新たに分かった情報を共有し支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、御入居者の様子観察に努めている。職員が把握した情報は生活状況記録、申し送り等で職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人、御家族の意向、要望をお聞きしている。担当職員の意見も合わせて御本人の生活課題と適切な支援のありかたを具体的に記載している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常生活状況、個別記録にケア内容等を記載し職員が引継ぎ、記録にて御入居者個別の情報の共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	外出、外泊時には御家族（同伴者）への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等の配慮に努めている。受診や入院等の緊急的な事が発生した時も御本人、御家族と連携を図り柔軟な支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のレストラン等の飲食店や近所のスーパーへの外出や散歩で近隣の方への挨拶を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	2週間に1回、法人内のクリニック医師の訪問診療を受けられている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告をしており、指示がある場合は速やかに受診介助等の対応に努めている。また、御本人、御家族からの不安に対して直接、主治医より説明を頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	御入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向の確認を行っている。先述の状況になった際は御本人、御家族、主治医、関係機関で話し合いを行い、書面にて確認を行い同意を頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応、報告手段の書式に基づき医療職や管理者に報告、連絡、相談する連宅体制を整えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	特に夜間帯に起きた際を想定し地震火災の避難消防訓練を3月、9月に実施している。水災害に置いても新たに避難計画を作成し、今後訓練を行っていく予定である。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者への尊厳に配慮した接遇には十分留意して接している。傾聴から始め受容する様心がけ対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	笑顔での対応を心がけている。御利用者の話を傾聴し、受容と共感の姿勢を持ち自己決定出来る様、努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り、御利用者の生活リズムに合わせて、安全を確認した上でその人らしい生活が送れる様、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回、訪問理美容サービス業者に来所頂き、御本人の希望に応じてカット、毛染め、パーマ等の対応を頂いている。季節に応じた身だしなみが出来る様御家族にも衣替えの協力を頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	米とぎや下ごしらえ、配膳、下膳、テーブル拭き等、御利用者と一緒にしながら家庭的な雰囲気が少しでも感じて頂ける様、努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	座位姿勢を確認しながら、御利用者の状況に応じてクッション等の環境の工夫を行い、御自身で食事・水分摂取が出来る様支援している。食事・水分摂取が難しい方には御本人の好みやゼリー等、好きな物、食べやすい物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施している。義歯使用の御入居者には定期的にポリドントを使用し義歯洗浄に努めている。訪問歯科診療による口腔内の洗浄等指導も頂いている。出来る限り自分で磨いて頂き磨き残しについては支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	現在、オムツの使用の方はいない。日中リハビリパンツ+パットから布パンツ+パットへ変更している。排泄のパターンを把握しトイレで排泄出来る様、努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員全体で便秘の原因や及ぼす影響に関する認識は持っている。食事・水分を摂取に加え、遊びリテーション、体操、歌、散歩等の活動を行い、便秘予防につながる様、努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り希望に沿った入浴に努めている。声かけの工夫やタイミング、同性介助等の配慮を行っている。入浴出来なかった方に対し足浴等でリラックス出来る時間の提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	御入居者の生活習慣や体力に 応じて、いつでも居室やリビング のソファで休む事が出来る様、 配慮している。夜間しっかり休 んで頂ける様、居室の環境整備 や日中の活動の提供を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	内服薬に変更があった場合に 職員が把握できる様に記録に残 している。効能についても理解 できるように薬情をファイルに 閉じている。変化があれば、 その都度、主治医や看護師に 報告し対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。	食材切り、盛り付け、掃除等、 役割を持って生活している実感 を持って頂ける様、努めている。 アクティビティ、散歩、買物 等、外の空気を吸うことで季節 を感じて頂き気分転換を図っ ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	ホーム周辺の散歩、買物、季節 感を得られるような外出行事 等の支援を行っている。個別支 援では誕生日のお祝いで御本 人のいきたい所への外出等の 支援を行っている。御家族の支 援も頂き、買物、墓参り等に行 かれる方もいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金の持ち込みはできないが、 一部、少額であるが御本人が 管理をされ買物時に一緒に行 っている。本人の意向があった 際は、御家族に確認をとり立 替金で購入している。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>御家族等の事情に配慮しながら、御本人からの電話の支援をしたり、先方から電話がある際には御本人に取り次いでいる。御入居者に届いた手紙やはがき等は本人にお便りをしたり、朗読させて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有の生活空間は、清潔を保ち御入居者が混乱されない様いつもと変わらない空間に配慮している。また、季節感が出るように飾り付け等にも工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを設置し御入居者のくつろげる空間に努めている。安全に配慮した上で、机のレイアウト、気の合う御利用者との談話ができる様に席の配置を行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>御入居者のなじみのある使い慣れた家具や飾り、写真等を御持参頂き可能な限り自宅に近い環境づくりに努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>御利用者一人一人の今ある力が十分に発揮でき自由に行動が出来る様、動線上の障害物に配慮し可能な限り、広々とした空間が維持できる様に努めている。</p>		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい東野

作成日 令和2年2月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民との交流が少ない現状がある。	町内会行事への参加。	民生委員からの協力も仰ぎ、町内会に参加する。	6か月
2	10	事業所の活動内容が御家族へうまく伝わっていない。	日々の生活や行事での御様子を伝え、ご家族の意見をより反映させていく。	毎月のモニタリングやお手紙の内容の充実。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。